

# 上里町立地適正化計画（素案）

## 立地適正化計画とは

立地適正化計画は、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地するよう土地利用の誘導を行うとともに、高齢者をはじめとする住民が公共交通により、これらの生活利便施設等にアクセスできるなど、地域交通の再編や連携なども含めて都市構造全体を見直し、『コンパクト・プラス・ネットワーク』の考えでまちづくりを進めるものです。

## 都市構造の位置づけと考え方

### 立地適正化計画における都市構造

### 位置づけと考え方

立地適正化計画における都市構造		位置づけと考え方
拠点	拠点市街地	都市計画マスタープラン（以下「都市マス」）において、神保原駅周辺を多様な都市機能の集積を図り公共交通の結節点を担う「中心拠点」に位置づけている。立地適正化計画においても、多様な機能集積と高密度な人口集積を目指す「拠点市街地」の位置づけを行う。
	住宅市街地	「拠点市街地」の生活サービス施設や公共交通サービスを支える、一定の人口密度を維持した「住宅市街地」の位置づけを行う。
	生活交流拠点	都市マスにおいて、既存集落地の公民館周辺を地域コミュニティの活動の場を担う拠点として位置づけている。「拠点市街地」との公共交通アクセスの維持を行う。
軸	公共交通軸	拠点や「住宅市街地」を結ぶ役割を担い、通勤通学や日常生活を行う上で利便性が高い公共交通路線の位置づけを行う。

## 目指す都市構造

※ 都市計画道路は、上里町都市計画マスタープラン（第4章全体構想『道路交通網の方針図』）を参照。

